

宇都宮大学

国際学部

国際学科

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

1年の4月から編入を考えていました。高校3年生の時に受験に失敗してしまい、この大学が編入対策をしていると先生に勧められたため入学しました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年7月：TOEIC 受験（志望大学が TOEIC のスコア提出が必須だったため）

3月：高橋先生との面談で特別研究のテーマを決定する

2年4月：小論文の過去問に取り組む（～8月）

5月：第1回 志願理由書作成

6月：第2回 志願理由書作成

7月：特別研究 アウトライン作成と資料収集➡特別研究開始

8月：最終志願理由書完成

（6月に作成してから少し間をあけました。その間、大学の情報収集と特別研究を進めていました。8月後半の2週間で添削指導と書き直しを繰り返しました。）

試験内容変更が判明

9月：出願書類郵送

プレゼンテーション原稿と作成

面接練習

9月29日：本番

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の1月下旬から高橋先生に指導をしてもらいました。

1月～2月：2時間×4コマの小論文のレクチャーを受けました。小論文の構成から文章作成のコツを教わり、実際に練習問題を解いて添削を行ってもらいました。

3月～9月：○小論文の過去問を解いていました。○高橋先生と毎週1回ずつ面談を行いました。一週間のやることの整理と、小論文や志願理由書の指導を受けました。

また、特別研究の内容については、この面談をするうえで、具体的な方向性を決定していきました。

Q.編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

努力したことは、「計画的になすべきことをなす」です。キャリアデザインの課題、英語の勉強、特別研究、受験の準備（志願理由書など）、受験をするにあたってしなければいけないことを計画を立てて実行しました。

Q.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

私の場合は、志望する学部が国際学部だったので、「北米の歴史と文化」や「文化人類学」、「現代の国際関係」などの国際に関する授業を履修しました。それらの授業内容は、自分の興味・関心と一致していましたし、志願理由書をはじめとして、プレゼンテーションや面接にもいかすことができました。

Q.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

高橋先生からの小論文、志願理由書、面接についての手厚いご指導は非常に役に立ちました。また、キャリアデザイン担当の先生方による面接練習とプレゼンテーションについてのアドバイスも、とても役立ちました。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

- ① 受験に失敗して、気持ちが切り替わらない…
- ② 編入するために頑張ろう！
- ③ 「やることはやってる！絶対に合格できるぞ！」
- ④ 受からないかもしれないけど、受かるかもしれない

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

「志望大学に行きたい、絶対に合格する！」という気持ちをもって、一つ一つの課題にコツコツ取り組む努力をすれば合格できます。頑張ってください！